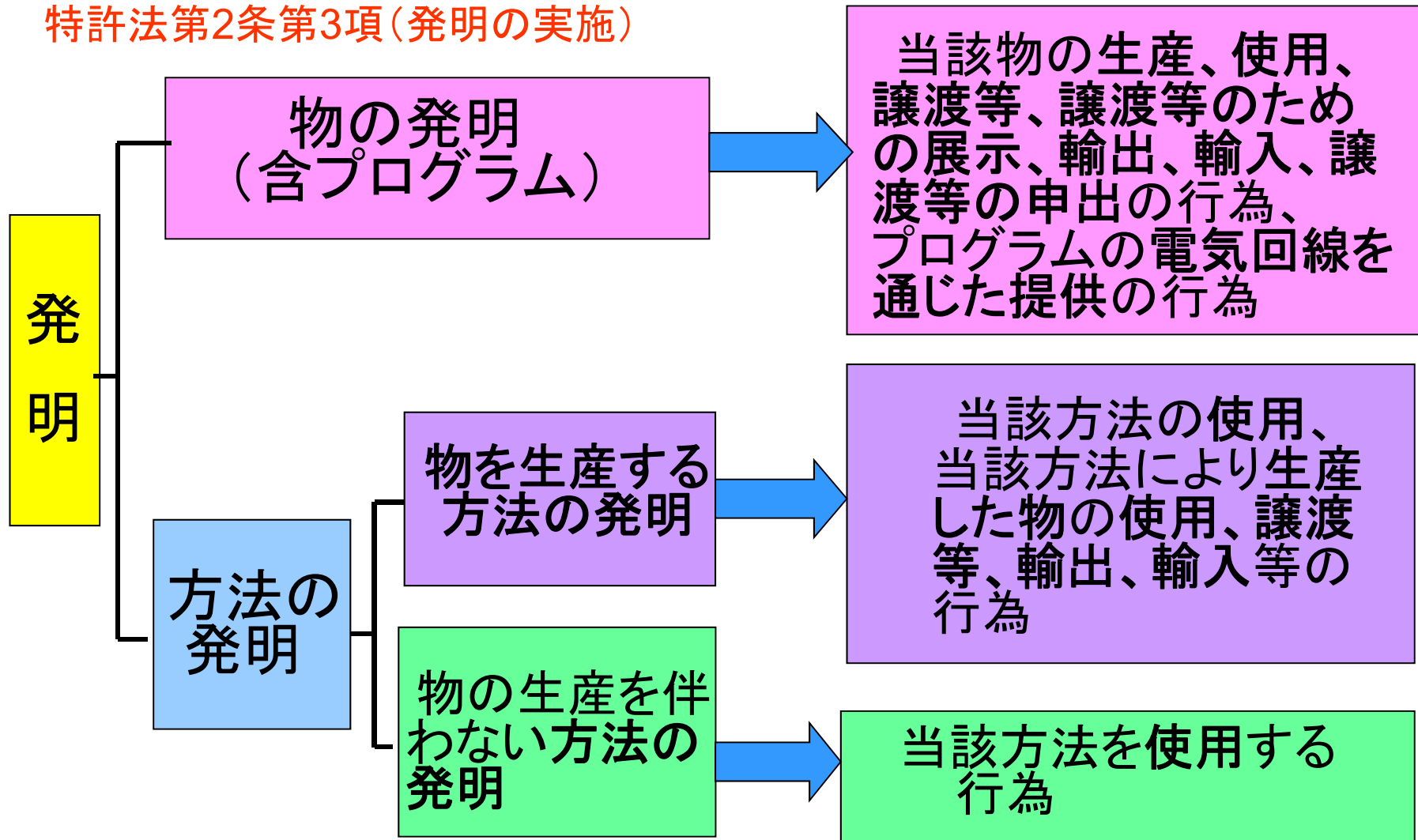


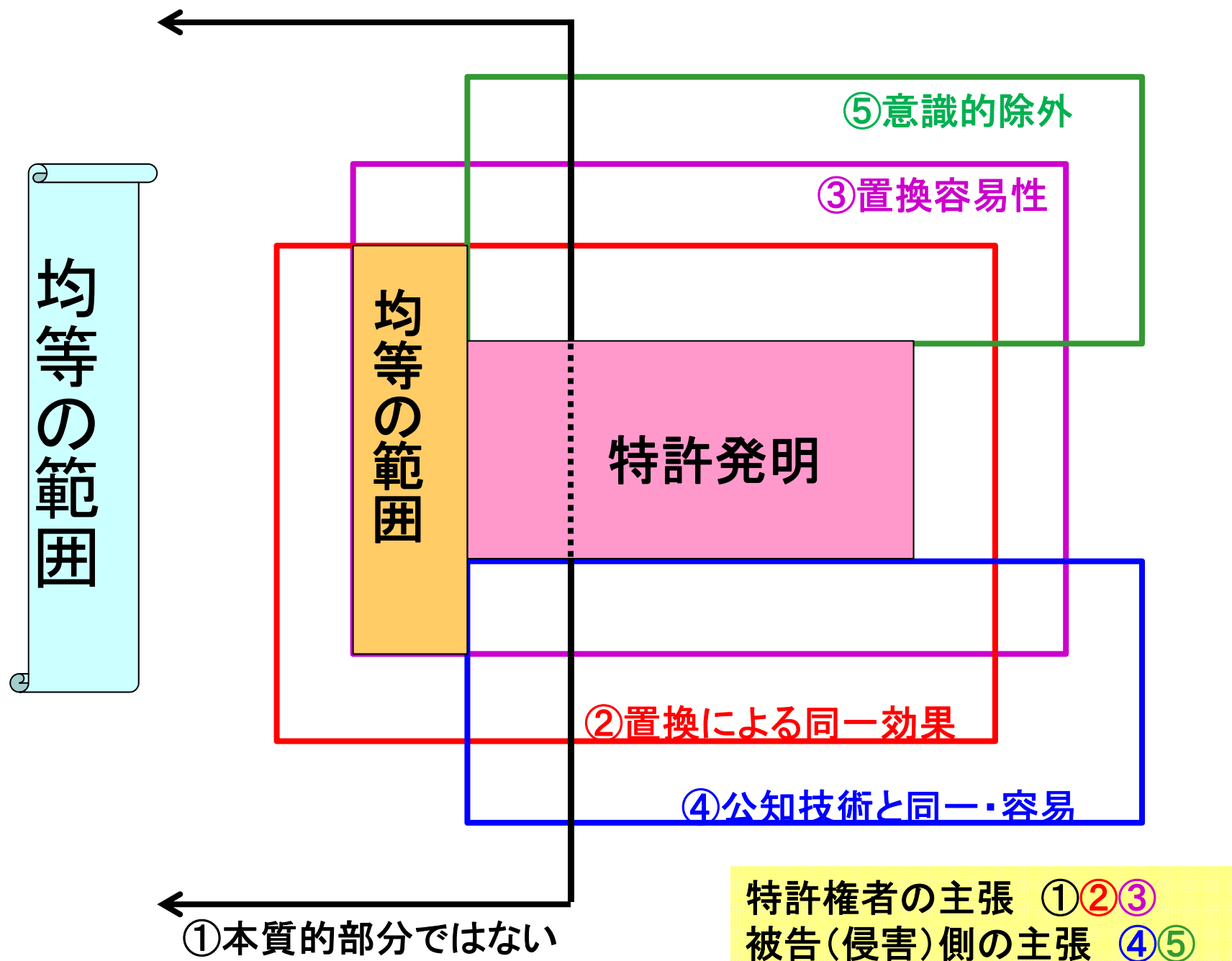
知的財産権概論 第11回 特許権の侵害とは？

たくみ特許事務所
弁理士 佐伯 裕子

発明の種類と特許権の及ぶ範囲

特許法第2条第3項(発明の実施)





損害額の推定

特許法102条1項（逸失利益額）

$$\boxed{\text{損害額}} = \boxed{\text{譲渡した侵害物の数量（侵害数量）}} \times \boxed{\text{単位数量当たりの逸失利益額}} - \boxed{\text{特許権者の実施能力に応じた控除額}}$$

同条2項（侵害者の利益の吐き出し規定、不当利得額）

$$\boxed{\text{損害額}} = \boxed{\text{侵害者の利益額}}$$

同第3項（実施料相当額、最低額の設定）

$$\boxed{\text{損害額}} = \boxed{\text{実施料相当額}} + \alpha$$

膵臓疾患治療剤事件

原告

X社(小野薬品工業)

メシル酸カモスタット
膵臓疾患治療剤
「フォイパン錠」

- ①Y製剤販売差止
- ②損害賠償

被告

後発メーカーY社

メシル酸カモスタット
膵臓疾患治療剤
「Y錠」

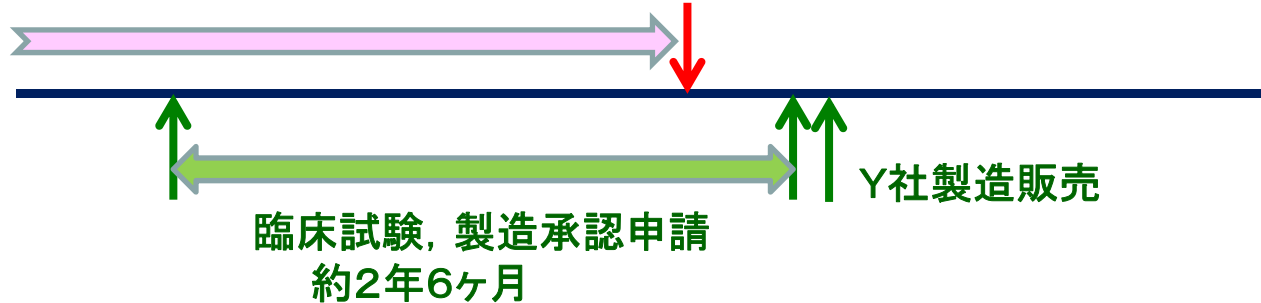
原告敗訴

京都地裁平9. 5

大阪高裁平10. 5

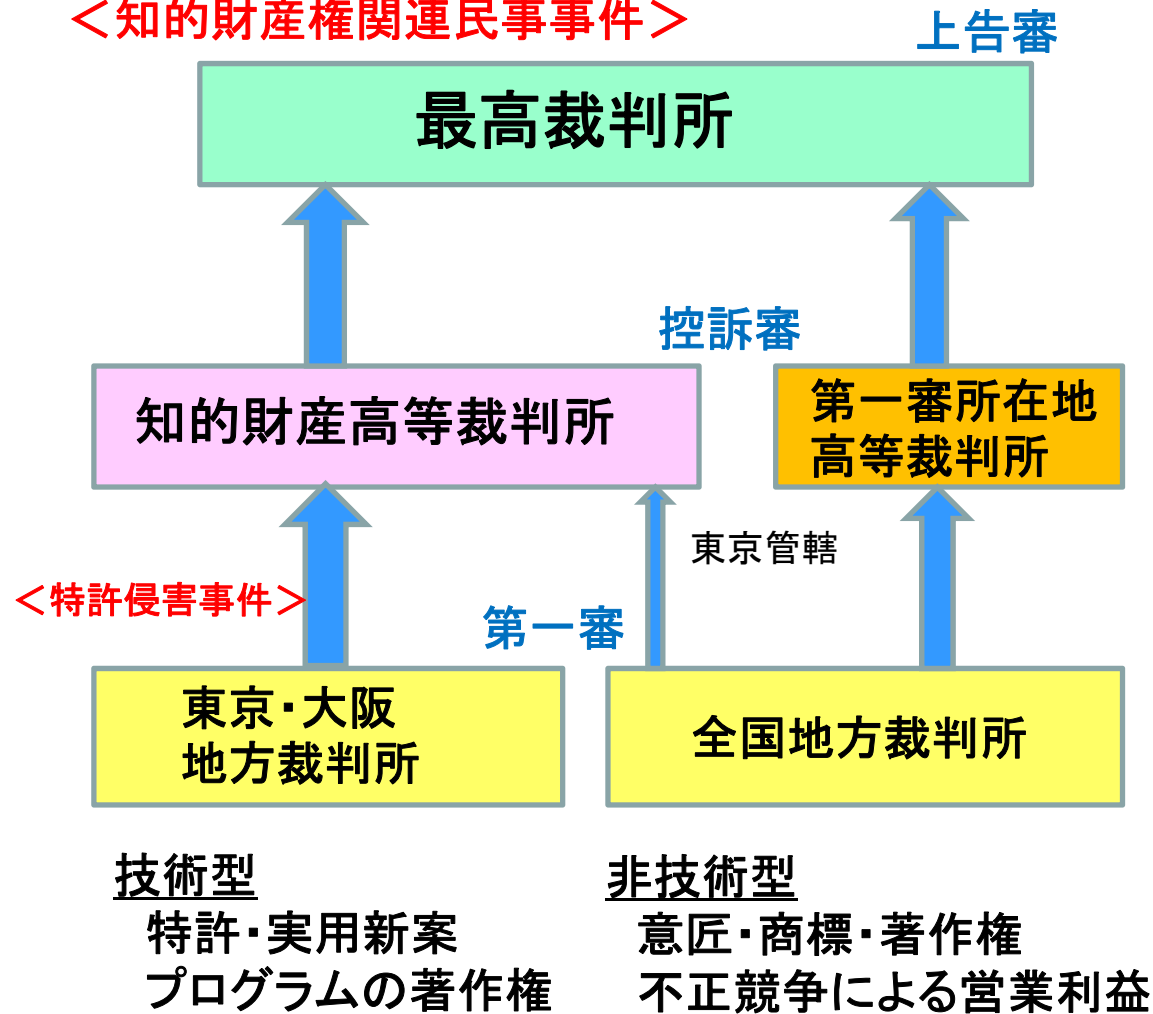
最高裁 平11. 4. 16

X社特許期間満了

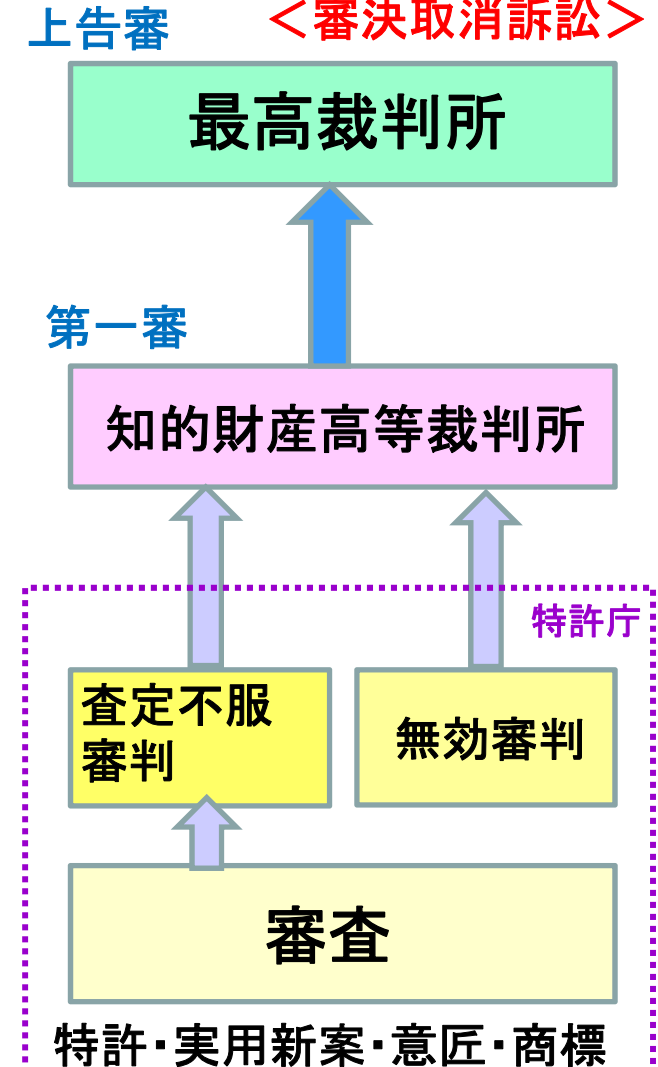


知的財産権関連の裁判

<知的財産権関連民事事件>



<審決取消訴訟>



佐藤食品工業 VS 越後製菓

2010. 11. 30 佐藤食品工業 勝訴（東京地裁）

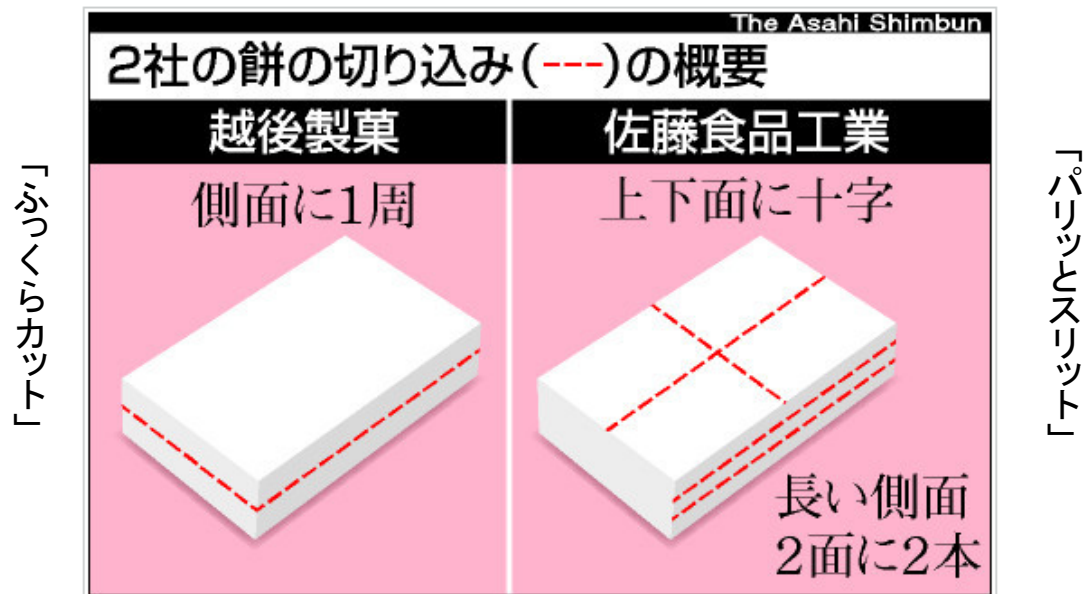
2011. 9. 7 特許侵害認める中間判決（知財高裁）

2012. 3. 22 越後製菓 勝訴（知財高裁）

（製造・販売停止 約8億円賠償命令 仮執行、製造装置廃棄命令）

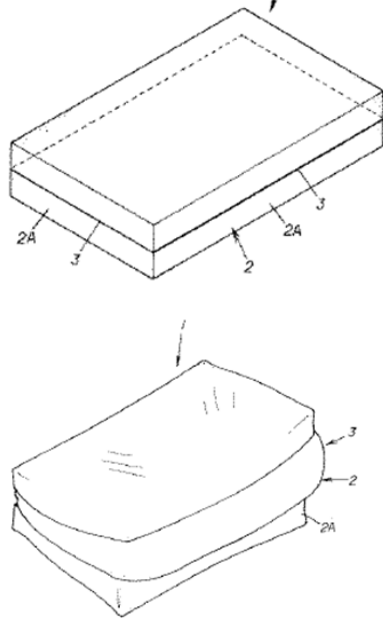
2012. 9. 19 最高裁上告棄却（佐藤の上告申立不受理）

佐藤食品 8億円損害賠償



(<http://www.asahi.com/>より)

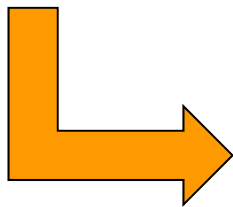
本件特許明細書の図面



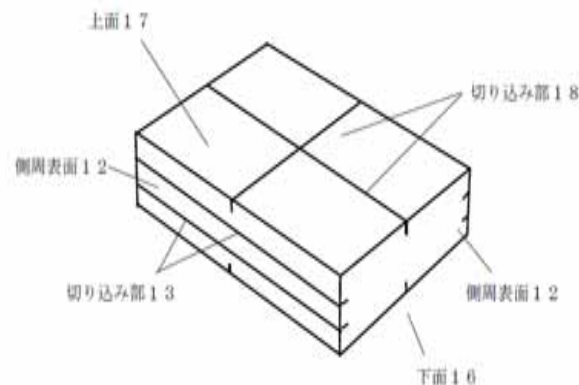
特許第4111382号(越後製菓(株))

特許請求の範囲【請求項1】

焼き網に載置して焼き上げて食する輪郭形状が方形の小片餅体である切餅の載置底面又は平坦上面ではなくこの小片餅体の上側表面部の立直側面である側周表面に、この立直側面に沿う方向を周方向としてこの周方向に長さを有する一若しくは複数の切り込み部又は溝部を設け、この切り込み部又は溝部は、この立直側面に沿う方向を周方向としてこの周方向に一周連続させて角環状とした若しくは前記立直側面である側周表面の対向二側面に形成した切り込み部又は溝部として、焼き上げるに際して前記切り込み部又は溝部の上側が下側に対して持ち上がり、最中やサンドウィッチのように上下の焼板状部の間に膨化した中身がサンドされている状態に膨化変形することで膨化による外部への噴き出しを抑制するように構成したことを特徴とする餅。



侵害



被告製品図面

佐藤食品工業(株)
サトウの切り餅「パリッとスリット」

シメチジン事件

原告

スミスクライン社

シメチジン製造方法
特許(オキシ法)

50億円損害
賠償請求

原告勝訴(30億円)
東京地裁平5(ワ)11876

・製造記録が不自然
・オキシ法不純物の検出

被告

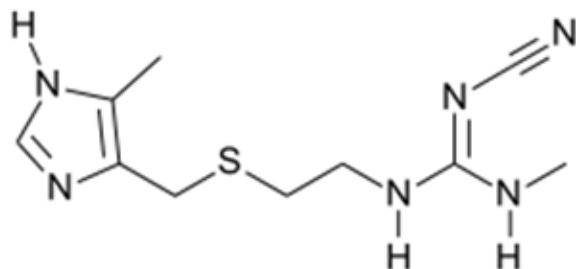
藤本製薬(株)

シメチジン輸入

レック社(旧ユーゴスラビア)

レック法で製造(主張)

シメチジン(最初のH2ブロッカー)



ミコナゾール事件

原告

東興薬品工業(株)

抗真菌外用剤特許
(ミコナゾール＋
クロタミトン溶液)

2億円支払え
製造販売差止め
被告製剤廃棄

被告

大正製薬(株)

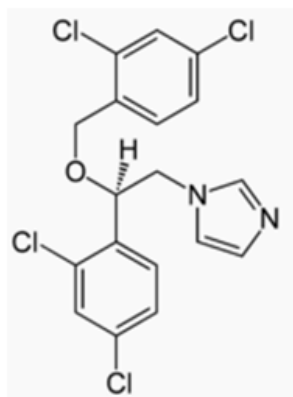
水虫・たむし治療薬
(硝酸ミコナゾール＋
クロタミトン)

原告敗訴

東京地裁平7(ワ)23005

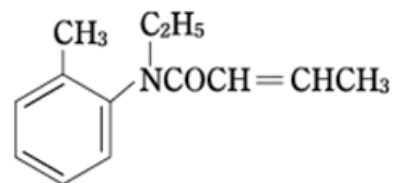
東京高裁平9(ネ)5702

ミコナゾール(抗真菌薬)



クロタミトン(抗炎症、かゆみ止め)

+



インターフェロン α 事 件

原告

ロッシュ社(スイス)

ヒト白血球IFN感受性疾患治療用医薬組成物

比活性
分子量
アミノ糖分1残基未満/1分子
HPLC単一ピーク
SDS-PAGE単一バンド
均質タンパク
SDS不含、夾雑物不含
であるヒト白血球IFNを含有

15.7億円支払え
製造販売差止
供給差止

原告敗訴

東京地裁平2(ワ)16740
東京高裁平6(ネ)2857

- ・ヒト白血球由来のみ
- ・α2はアミノ糖分相違
- ・α8は分子量相違

被告

大塚製薬(株)
持田製薬(株)
林原生物化学研

原液供給

ヒトリンパ芽球細胞
(BALL-1細胞)由来
IFN-α(α2+α8) + 血清
アルブミン抗癌剤

ORF-1(α2サブタイプ):
アミノ糖含有量1.4残基
A8サブタイプ:
糖鎖なし、分子量大

参考： インターフェロン

表2 インターフェロン(INF)の種類と性質

性 質	INF- α	INF- β	INF- γ
産生細胞	白血球(リンパ球、マクロファージ)	繊維芽細胞、上皮細胞、マクロファージ	T細胞、NK細胞、マクロファージ
誘導物質	ウイルス	ウイルス、ポリIC複合体	ウイルス以外の抗原、PHA、Con A
分子種	15種以上	1種	1種
分子量(単量体)	20,000(単量体)	20,000(2量体)	20,000(2-4量体)
熱安定性(56℃,30分)	安定	安定	不安定
pH2.0安定性	安定	安定	不安定
種特異性の有無	有	有	有(強い)
イントロンの有無	無	無	有(3)
抗ウイルス作用の程度	強い	強い	弱い
抗ガン作用の程度	弱い	弱い	強い
免疫増強作用の有無	無	無	有

基礎病原微生物学(広川書店)